



スピリチュアルケアの可能性

□オンライン開催
お申し込みは
こちらから



□お申込み締め切り
2021年6月23日(水) 17時

□先着 100名様

□お問合せ 死生学研究所 shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

□参加費 無料

第2回連続講座

6月26日(土)

16:20-17:50

小坂和子

(こさか かずこ) 本学人間科学部教授

C.G.ユングのplay (プレイ) 体験と「生命性」

内容紹介:

ユングから教えを受けた分析家たちと、スイスでお会いする機会がありました。そこにいるユング先生は、人をひきつけてやまない老賢者で快活な茶目っ気をたたえていました。河合隼雄先生は、渡欧された折、死に臨むユングの様子をお聞きになったそうです。

牧師館に生まれた少年ユングは、葬式が日常にある中で「死」の本質に触れていたのでしょうか。木切れ、火や石のひとり遊びから始まり、絵や彫刻・易、石積みの塔づくりに至るエピソードは、ユングの個人的な文化領域を形成しています。それは、趣味というよりも、こころの深層領域で思いがけない自分を発見し、役割を演じ、日常を離れて遊びこむ特別な体験として、彼の人生を貫いていきます。まさに死を起点として「いのち」を見つめるまなざしから生まれてきたのでしょうか。

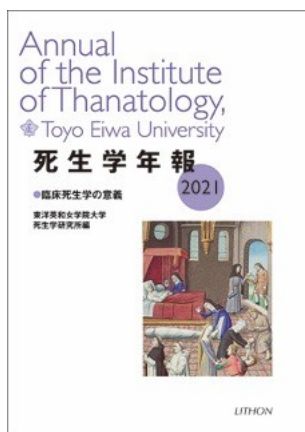
河合先生の少年時代にも、ユングと同様の「死」に関わる思い出があります。先生の事例検討での厳しい姿勢と、「ウソつきクラブ」メンバーとしての愉快的逸話もご紹介しながら、「いのち」について考える時にしたいと思います。

■プロフィール

本学人間科学部教授(臨床心理学)。京都大学教育学部及び同大学院教育学研究科博士後期課程単位修得退学。臨床心理士・公認心理師。教育相談機関、総合病院や診療所の精神科および心理相談室にて心理支援・心理療法を実践。分析心理学、対象関係論。2005~2007年スイス連邦チューリヒにて在外研究としてISAP(国際分析心理学研究所)、ユング研究所で学ぶ。ユング派心理療法家。三好暁光学術奨励賞受賞(京都大学)。

■主要業績

- ・「『臨床の語り』にみるレトリックの諸相」(2018) 人文・社会科学論集 第35号
- ・「『音を聴く』こと分析心理学的試論」(2014) 東洋英和女学院大学心理相談室紀要 第17号
- ・「不登校——思春期の不登校とその心理動向を巡って」(2010) 金剛出版(分担執筆)



東洋英和女学院大学死生学研究所編

死生学年報2021

臨床死生学の意義

◆書店にて定価2,500円+税でご注文、ご購入いただけます。

◆お問い合わせ先 東洋英和女学院大学 死生学研究所
shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp

〈予告〉

◇第3回〈公開〉連続講座 7月31日(土) 16:20~17:50

葛西賢太(上智大学グリーンケア研究所特任准教授)

「傾聴をどう学ぶか——上智大学グリーンケア研究所での経験から——」